

## 2 目標達成計画

作成日: 平成29年1月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○職員を育てる取り組み 職能等級基準書及びキャリアパスを整備し、職員へ周知しているが、現状は所定の資格取得や研修の修了での評価となっており、実際の介護現場における実践的スキルについては適正に評価できていない。	「介護キャリア段位制度を活用し、わかる(知識)とできる(実践的スキル)の両面から評価できるシステムを整備し、今年度中にレベル認定者を4名(最低2名)育成する。」	《スケジュール》 アセッサー:管理者、他 3月…レベル2認定に向けた事前準備(等) 4月…期首評価(被評価者の選定と実施) 5月…目標の設定及び評価開始の届け出 6月…期中(期中評価の実施) 7月…期末評価(被評価者は自己評価の実施) 8月…レベル認定申請(最低2名)	6か月
2	41	○栄養摂取や水分確保の支援 認知症の進行による知的能力の低下や加齢(等)に伴い、咀嚼・嚥下機能が低下し、自力で経口摂取することが困難となり、介助を必要とされる利用者が増えている。当事業所では原則として、経管栄養(延命医療)は行っていない。そのため、ご利用者(ご家族)の意思により、経管栄養を希望されない場合は、できるだけ安全に経口摂取していただけるよう食形態を工夫し、食事介助するようにしている。しかし、介助方法が画一的で、利用者個人の状態(咀嚼・嚥下機能)に応じた介助ができていない。	「全職員が利用者個人の状態(咀嚼・嚥下機能)を理解するとともに、その状態に適した食事介助の方法(理由・根拠)を理解し、安全に介助することができるようになる。」	《スケジュール》 責任者:主任 2月1週…現状把握(姿勢、摂取量、介助方法) 3月1週…食事介助方法の統一(根拠)と実践 3月3週…口腔ケア時の基本姿勢(理解) 4月1週…口腔ケア介助方法の統一(根拠) 4月3週…評価(検証)	3か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。